

# 土・まち・みどり

通信 第 61 号

2015. 10. 22

発行 NPO 法人土とみどりを守る会

連絡先 6421-2118 (事務局)

CONTENTS ◆みどりの街づくりガイド(案)の制作 ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて  
◆まちめぐりの報告 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

## みどりの街づくりガイド(案)の制作について

奥沢の街は、みどりが豊か、歴史がある、住民の仲が良く地域活動の盛んな街です。

しかし奥沢地域は住宅地の小規模化等で、みどりが急速に失われつつあります。

奥沢のみどりを守るにはどうすれば良いでしょうか。

土とみどりを守る会は、平成16年「奥沢・みどりの街づくり宣言」を区に登録後、樹木や花を植え、土の面を多くする等のみどりを残すにはどうしたら良いかの検討を続けています。

この度、有志による検討会を通じて、会員、地域住民の方々にお諮りしながら、街づくりの方策を、「みどりの街づくりガイド」(案)としてまとめようとしています。

「みどりの街づくりガイド」(案)の制作

○これまでの経過とこれから

平成16年3月、世田谷区風景づくり条例に依る「界わい宣言」として、「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」を締結した。次のステップとして、区による「界わい形成地区」の制定が待たれるが、具体的

道筋が見えていないようである。

そこで、土とみどりを守る会として、対象地域の住民で情報を共有し、今後の建て替えや新たに建築をする方にもメッセージを伝えるために、「みどりの街づくりガイド」(案)を制作する。

「みどりの街づくりガイド」(案)は、対象となるエリアに全戸配布するほか、掲示板にポケットを設け、来街者はチラシを持ち帰ることができるようにする。会のホームページでも公開する。

○スケジュール(案)

1. 「みどりの街づくりガイド」(案) 検討会
2. 「つどい」や案内の配布により地域にメッセージを発信する→意見を募る
3. 意見を踏まえ、最終案を作る→総会等で合意形成をはかる。
4. 掲示板、ホームページで公開。印刷(当初はプリント)で配布。

来る11月15日(日)に晩秋のつどいを会の事務所(シェア奥沢)で開催し、皆さまとお話を予定しています。ご関心をお持ちの方は是非ともご参加ください。

### 参考 奥沢・土とみどりの街づくり宣言(界わい宣言)

宣言の目標:「緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街にしていくための住環境づくり」

宣言(案)によって生ずる活動の内容

1. 街並みの調和を大切に、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。そのためには、住まいと街をつなぐものとしての建物の外壁、塀や柵、擁壁などのしつらえの方法や素材選びなどのアイデアを共有してゆく活動を進める。
2. 街並みに寄与している樹木を推奨し、周囲の住民の理解を得て、その保全に努め、新改築時に既存の樹木や生け垣を残す他、壁面緑化などの工夫を通じて、生活空間を豊かにしてゆくための活動を進める。
3. 季節の花がある楽しい街並みづくりや、文化活動を通じてご近所づきあいを活性化し、地域のコミュニケーションを深める活動を進める。

(平成16年3月31日界わい宣言登録)

# おくさわ今と昔

(このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方、新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただきます。)

## 「父と奥沢・海軍村」

奥沢2丁目 西野 裕久

奥沢の、それも海軍村のこのエリアをこよなく愛していた大正11年生まれのお父 西野定正が、突然あの世に旅立った。

海軍の将校の子弟として、奥沢のこの一角に住むようになったのは、父親・西野定市が海軍の武官としてドイツへ長期出張していた間、母親の実家にいた関係から福岡県嘉穂郡飯塚町立・立岩尋常小学校の生徒であった父が、定市の東京転勤により八幡尋常小学校2年に編入した時であるので、昭和4年ころからと思われる。

以来、自身の転勤した数年を除き、ずっと緑ゆたかな、静かな環境にあるこの街で、さまざまな方々とふれあいながら、生を全うした父であった。

奥沢の古い話をする時に、必ず話題となるのが、奥沢駅前にあった「明電舎グラウンド」のことであった。野球好きであった定市に連れられて、野球観戦をした父も大変な野球好きであった。当時まだプロ野球の草創期の時代、社会人野球は、スポーツの花形だった。強豪チームであった明電舎は、工場所在地の大崎からさほど遠くないこの奥沢駅前にグラウンドを構えており、父は、藤倉電線、日本コロムビアといったチームとの試合を、非常に楽しみにしていたという。

みどりに関して申し上げれば、当敷地内に赤松が三本ある。これは、昔からある松で、父は、これだけは、そのまま残そうと、家の建て替えの際にも、それが大前提での設計とした。そのため、この松を頼りに、いまだに、わが家へ訪ねてくれる人もいるほどである。

家の建て替えといえば、一つ問題となったのが、家の前にある「海軍村跡」の碑であった。区の制度を活用して、道路部分を区に提供することとなったが、区の担当者のお話では、碑は公道には設置できないとのことで、一時は、奥沢2丁目公園に移設という話になった。しかし、父は「あそこでは、海軍村とは言えないだろう」と譲らず、結果として、敷地内に引き入れる形で、残すこととなった。これも、海軍村育ちの父の誇りのなせるわざだと思う。

交通至便ながら、環境のすぐれた奥沢が、これからも維持されてゆくことを、父もあの世から見守ってくれるにちがいない。

## 「西野定正さんを偲んで」

事務局長 鈴木 仁

西野さんは奥沢海軍村の記録や記憶を後世のために残すことに大変熱心な方でした。世田谷区発行の「ふるさと世田谷を語る 奥沢・尾山台」に海軍村の地図が載っています。これは西野さんと同じく海軍村の荒木さんが一緒に作り提供されたものです。

8年前に、当時の事務局長であった柳島尚子さんと西野宅で、西野さんと佐藤忠さんにお会いし、子供の頃のお話や当時の記録や写真を見せて頂き、当時の海軍村の様子を話して頂きました。

その中に、西野さんの父上（定一さん 後に主計中将）と地主さんの間の土地賃借契約書がありました。契約の日付は大正13年12月9日でした。

奥沢をはじめとする玉川村（現在の玉川地区）の玉川全円耕地整理事業（地主が主体となる民間の宅地開発事業）は、大正12年1月に玉川村村会で耕地整理事業の企画が議決、大正14年組合が設立され、奥沢地区は昭和6年12月に耕地整理が始まりました（「郷土開発」昭和30年7月20日より）。

契約書の日付からみて、地元奥沢の地主さんたちによる耕地整理が先行していたことが分かりました。街の歴史のために、この私的な資料を快く提供下さったことをありがたく思いました。

また子供の頃の話では、海軍村とドイツ村の子供たちが、野球や駆けっこして遊んだことや九品仏川沿いには水田があり、周辺には麦畑があったことをお聞きしました。

最近になって散歩中の西野さんにお会いしたときに、「呉に行って生まれた場所を見てきたよ。」といかにも長年の念願を果たした満足感がお顔に溢れていました。

体調を崩され3か月も入院された後、ご子息裕久さんとリハビリのウォーキングをされていたほほえましいお姿を拝見していたのに、突然お亡くなりになりおどろきました。西野さんのご冥福を心よりお祈りします。

## 奥沢の歴史を訪ねてXIV

### 奥沢近辺の城址と地名⑧その他の城址 (vii)

今回は奥沢のお隣さん等々力にあったと伝えられている等々力城跡について紹介する。

世田谷の城塞の著者三田義春氏はむしろ野毛砦と呼ぶほうが相応しいと考えているようである。

「ノゲ」とは東国の土俗古崖地を指しているという。しかし、この辺りは等々力溪谷があるものの急峻な崖はなく、むしろ付近よりなだらかといってよく、六所神社と善養寺の間から神明祠近くに上る鎌倉道が伝えられている。

従って六所神社から谷沢川右岸の崖が多摩川から攻め上ってくる敵に対しての防御線になる。ここは多摩川河原に降り、下野毛の渡しに通じている。

只、善養寺は江戸時代の慶安年間(1648～52)に深沢村から移転してきたものと伝えられている

(私たちの住むまち奥沢の成り立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介します。)

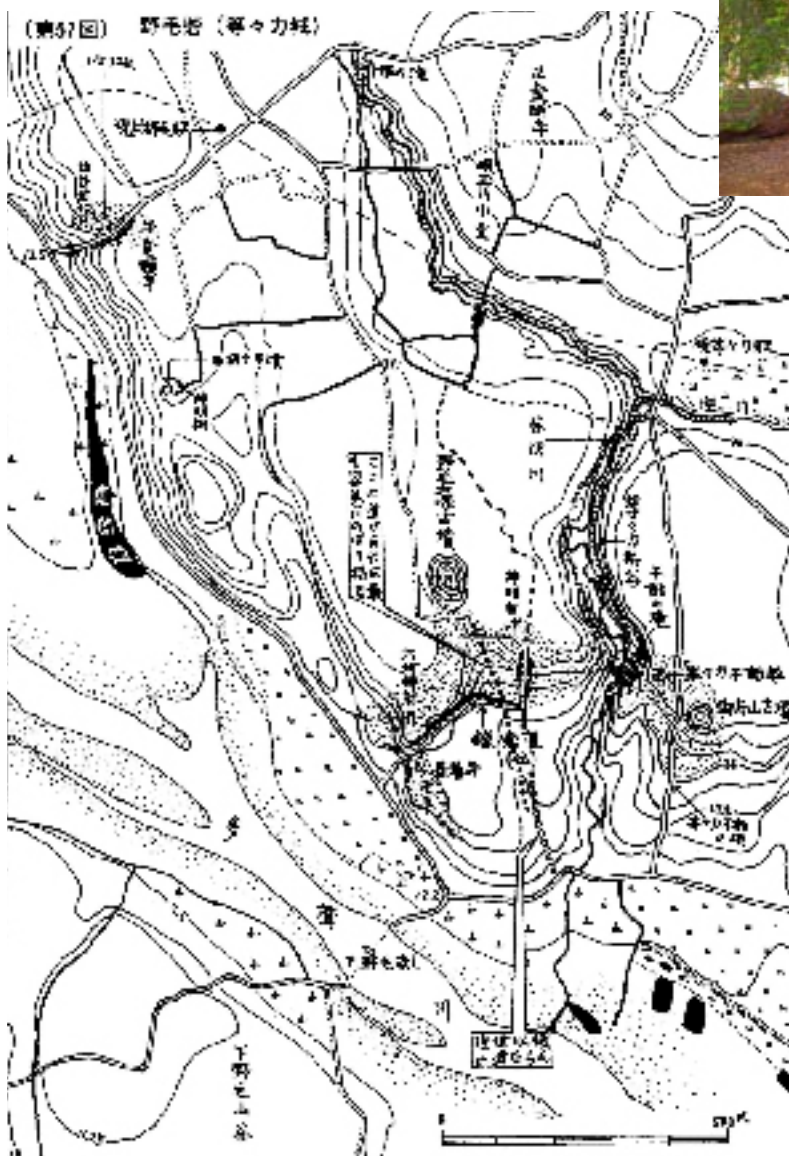
が、都天然記念物にされている大榎(カヤ)の木の樹齢が600～700年とみられているので、善養寺以前から神社・仏堂・祠などがあったと考えられる。六所神社も上野毛境から移転してきたものである。

尚、野毛大塚古墳と御岳山古墳は当時かなり目立っていたと思われるので、当然狼煙台に利用されたことであろう。野毛の田中氏、等々力の豊田氏(土居田)は吉良氏の旧家臣である。

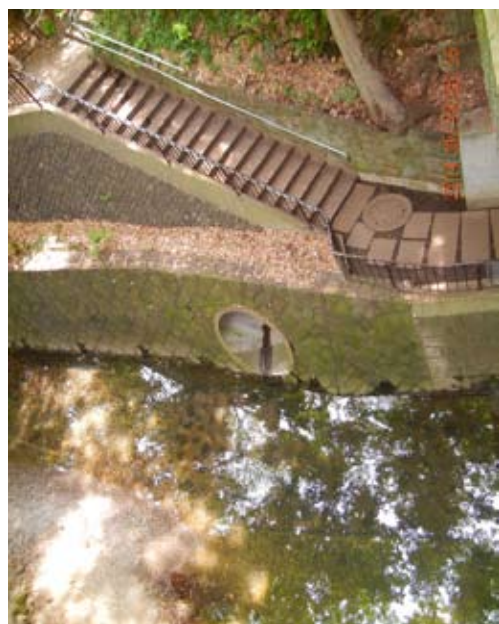
(赤松)



善養寺の大カヤ



野毛(等々力)砦跡(世田谷の中世城塞から)



等々力溪谷(逆川[ゴルフ橋下の丸い穴]と谷沢川合流地点)

## まちめぐり報告 大名庭園六義園・財閥庭園旧古河邸庭園を訪ねて

心配された雨もあがり、無事国名勝都立六義園と国名勝都立旧古河庭園をのんびり散策してきました。

ただ、参加者が大変少なく残念でした。あまりにも有名で、どなたも一度は足を運んだことがあったのかなとも思いました。

六義園は数少ない大名庭園で一時は荒れていたようですが、明治以後手を入れ直したようです。原型は残されており、素晴らしい景色が各所に見られました。

旧古河庭園は陸奥宗光邸でしたが、その子が古河財閥の養子となった為古河財閥の所有となり、西洋庭園と日本庭園を合わせ持つ構成となっています。バラは一年中咲いており、いつでも楽しめます。

来年は近隣の街並みを訪れたいと考えています。

(赤松)



六義園



旧古河庭園

## 活動報告

●世田谷区は、昨年度新たに第3回地域風景資産20箇所が選定され、地域風景資産は合計86箇所となりました。今年度は区民に地域風景資産を更によく知ってもらうために、「せたがや地域風景資産クイズラリー」が10月15日(木)～11月30日(月)が実施されます。当会3つの風景資産も入っていますので参加下さい。

●10/17(土)、10/18(日)奥沢文化祭が奥沢区民センターで行われました。例年通り会活動を紹介展示しました。

## 会からのお知らせ (秋の行事が目白押しです、ご協力宜しくお願いします)

●チェリーセージプランターのメンテナンス(土替え、剪定、施肥)を、10/31(土)と11/1(日)いずれも9:00事務所発16:00頃まで(予備日11/7(日)午後)行います。

●晩秋のつどいは、11月15日(日)午後1時半から、「シェア奥沢」で行います。テーマは「みどりの街づくりガイド案制作」です(詳細はチラシ等でご案内します)。

●街の落ち葉掃き、奥沢交和会との協働で行います。スケジュールは、・奥小周辺コース11/20(金)、11/25(水)、12/4(金)、・海軍村大ケヤキコース11/21(土)、11/28(土)、・九品仏川緑道コース11/22(日)、11/29(日)の7回、時間は早朝ですが7:30-8:30(奥小生徒は7:30-8:00)です。

●ボタニカルアート入門編講習会を12月12日

(土)10:00-12:30シェア奥沢で開催します。テーマは年賀状です(詳細はチラシ等でご案内します)。

●フラワーアレンジメント講習会を、12月20日(日)午後1時半から奥沢区民センターで開催します。テーマは「お正月のアレンジメント」(詳細はチラシ等でご案内します)。

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える会費は1口1,000円です。どうぞご協力をお願い致します。入会のご相談は下記へお寄せ下さい。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢2-32-11 堀内正弘 5701-5901

世田谷区奥沢2-18-5 鈴木 仁 3723-6659

世田谷区奥沢2-41-2 玉置敬子 3724-1077

ホームページ ; <http://tsuchimidori.net>

e-mail ; [info@tsuchimidori.net](mailto:info@tsuchimidori.net)